

1st grade

CAMP

大学生になってー自由と自律を大切に

理学部 地球科学科 1年 中西眞純さん



Q. 大学の授業を受けた感想は？

大学の授業は高校より長く、90分で1コマになります。これを長いと感じるかは人それぞれですが、自分の好きなことや興味を持ったことを学ぶことのできる

PROFILE

東京都出身。芝高等学校卒業。地球科学全般に興味がある。将来は大学院に進みたい。硬式野球部に所属。

授業だと、その時間はあっという間に過ぎてしまうものです。大学では自分が興味を持った授業を率先して選ぶことが出来るんです。また、最初は興味を持っていない分野でも、面白いと評判の授業を受けてみるのも新たな発見があって楽しいものです。

Q. 高校生活との違いは？

一日の授業数は多い日で5時間、普段は3～4時間で、空き時間には友達と話したり、勉強したりと、楽しく過ごします。授業後は部活で汗を流したり、バイトをしたりと、自由な時間も作りながら、自律を心がけて生活しています。休日は午前中に部活をし、午後からは部活の仲間と遊びに行ったり、学科の仲間が集まってみたりと、ある意味忙しいと言ってもいいぐらいです。「何でも楽しむ」をモットーに過ごしています。



4th grade

CAMP

希望の研究室で思う存分研究を

理学部地球科学科 4年 水谷隼士さん



PROFILE

三重県出身。気象学(川村)研究室に所属し、中部地方の降水現象の時空間特性に関する研究を行っている。卒業後は三重県四日市市に消防官として勤務する予定。

Q. 研究室に入ってからの生活は？

4年生になると配属された研究室中心の生活になります。毎朝6:30頃に起きて軽い朝練(陸上競技歴10年)を行い、学校へ向かいます。4年の前期は公務員試験を控えていたこともあり、研究より試験勉強に力を注いでいましたが、後期からはほぼ一日中研究室で過ごしています。授業はほとんどありませんが、週に1回、研究室のゼミナールがあります。ゼミはディベートやプレゼンテーション

の練習の場でもあり、最も有意義な時間です。午後からはパソコンに向かって気象データと格闘(笑)し、本格的に研究を行います。夕方には部活動へ足を運ぶこともありますが、夕食後、また研究室へ戻る人が多いです。

Q. 富山大学で過ごした4年間は？

部活動では陸上競技部主将を務め、リーダーとは、効率の良いマネジメントとは、など自分の役割について考えるきっかけとなり、とても良い経験ができました。秋には部活動を引退し、研究一筋の生活となりましたが、毎日「新しい発見」があり、一日はあっという間に過ぎていきます。たくさんの「人」との出会いに恵まれ、様々な価値観に触れ、自分を大きく成長させることのできた貴重な4年間であったと振り返っています。今後はゼミや部活動を通じての経験を十分に生かし、様々な問題を解決することのできる社会人を目指して頑張っていきたいと考えています。

